

軽井沢土曜懇話会

平成19(2007)年5月19日

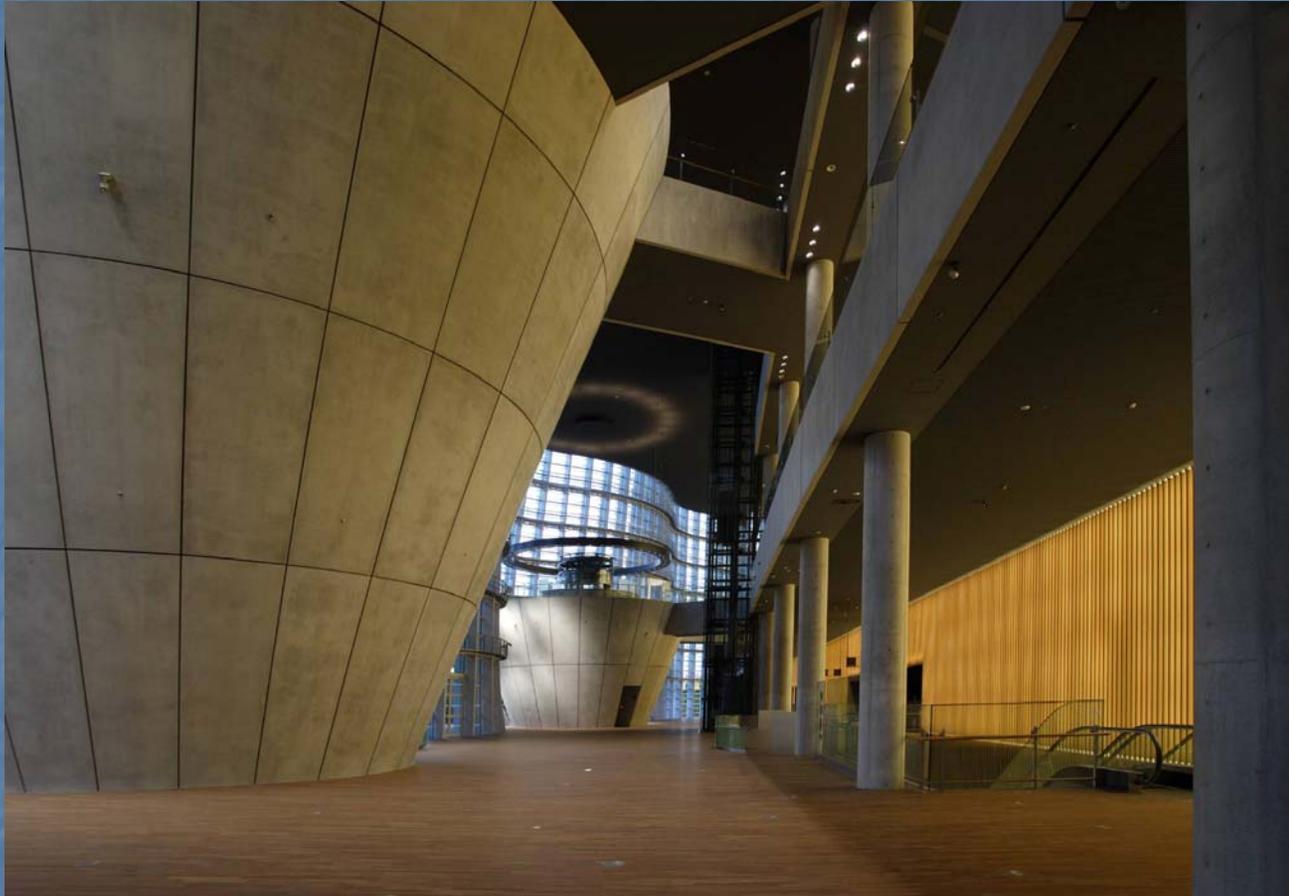
国立新美術館

館長 林田 英樹

国立新美術館（正面外観）



国立新美術館（アトリウム）



手前：レストラン、奥：カフェ

国立新美術館の活動

1. 多彩な展覧会の開催

- ①全国的な活動を行っている美術団体などへの
発表の場の提供
- ②新しい美術の動向に焦点を当てた自主企画展
- ③新聞社などとの共催による展覧会

2. 美術に関する情報収集・提供事業

3. 教育普及事業

国立新美術館(展示室)



← 企画展示室

公募展示室 →



国立新美術館 (ライブラリー)



国立新美術館(レストラン等)



レストラン



カフェ

国立新美術館 (ショップ)



独立行政法人となって

1. 運営上の自主性、透明性、効率性の拡大
2. 廃止、民営化、類似業務を行う法人の統合、組織・業務全般について整理縮小などの観点からの見直し
3. 規制改革・民間開放推進会議からの市場化テストの対象化の議論

国の文化予算の国際比較(2005年度)

文化予算

国家予算に占める割合

日本 1,016億円 0.12%

フランス 4,014億円 0.96%

イギリス 2,598億円 0.26%

地方公共団体の文化関係経費の推移

・平成5(1993)年度 9,553億円



・平成16(2004)年度 4,645億円

寄付金に関する日米比較

(財団法人公益法人協会の資料による)

■ 一世帯当たりの寄付金額(平成12(2000)年度国民生活白書)

・ 日本 3,200円
(平成11(1999)年3月末 2人以上世帯)

・ 米国 82,940円
(平成10(1998)年 一世帯当たり)

米国と日本の公益寄付額

・米国(平成14(2002)年)

2,409億ドル(26兆5千億円)

内訳 個人 1,800億ドル(20兆円)

企業 120億ドル(1兆54百億円)

その他

寄付先 宗教35%、教育13%、
芸術文化5%(1兆34百億円)

・日本(平成14(2002)年)

5,312億円

内訳 個人 220億円

企業 5,092億円

世界の美術館、博物館の新增設の動向

『ミュージアム・パワー』

(高階秀爾、蓑豊編・慶應義塾大学出版会)より引用

・米国

1. ゲッティー美術館の新設
2. グッゲンハイム美術館のビルバオ
(スペイン)分館の新設
3. ニューヨーク近代美術館の増設
(8億5千万ドル、谷口吉生)

世界の美術館、博物館の新增設の動向

『ミュージアム・パワー』

(高階秀爾、蓑豊編・慶應義塾大学出版会)より引用

・フランス

1. ルーブル美術館

(1) ランス(北部)分館

(妹島和世、西沢立衛 SANAA)

(2) アブダビ(アラブ首長国連邦)分館

2. ポンピドー・センター

(1) メッス(ロレーヌ)分館(坂茂)

(2) 上海進出

3. ケ・ブランリー美術館の新設

世界の美術館、博物館の新增設の動向

『ミュージアム・パワー』

(高階秀爾、蓑豊編・慶應義塾大学出版会)より引用

・英国

テート・モダンの新設

・中国

上海博物館の新設(1996年)

三峡博物館(2005年)

※2010年までに北京で35、上海で75、中国全体で
1,000のミュージアム誕生

・韓国

国立博物館の新設

リウム美術館の新設(三星)



国立新美術館

THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO